



行政書士 伊藤桂子氏による講演

四月五日(第一日曜日)、大般若法要並びに年回忌合同供養・終活セミナーが開催されました。法要前には、昨年に引き続き行政書士様をお招きし、「終活」をテーマに講話いただきました。だけれどもが迎える死を意識しつつ、これからの人生のために知っておくべきことややっておくべきこと等、分かりやすい内容で考えさ

大般若法要並びに年回忌 合同供養・終活セミナー



夏号

発行
令和8年7月1日
川崎河内門崎字館畑309
常堅寺
TEL:43-3932
FAX:43-4006

◆ 今月のごまは「喜捨」◆
仏教には「喜捨きし」という言葉があります。それは、惜しむ言に与える心のこと、お金やうだけでなく、思いやりや言葉も立派な喜捨です。

せられるきっかけになったのではないでしようか。
また、法要・供養後には甘酒ぶるまいもあり皆様に喜んで頂きました。

天井絵が法被に



本堂天井絵の龍



法被裏

法要時等に着用される法被を制作。今年若手男衆のお手伝いもいただき、一目で役員・スタッフとお分かりいただけるようになりました。背中の絵柄は本堂の天井龍絵画を素に副任職が人工知能AIを駆使しデザインしたのになっていきます。また来年お目にかかることを楽しみにして下さい。

令和7年度 護持会収支決算

収入	本年度予算額	本年度決算額	比較	備考
項目				
護持会費	1,430,000	1,485,500	55,500	檀信徒宗費(地区内-1168,500 現金22000 地区外-295,000)
繰越金	0	0	0	前年度繰越金
雑収入	5,000	3,055	▲ 1,945	電柱使用料・預金利子
合計	1,435,000	1,488,555	53,555	

支出	本年度予算額	本年度決算額	比較	備考
項目				
公租公課	16,000	15,900	▲ 100	固定資産税
宗派課金	400,000	429,685	29,685	宗務庁宗費、宗務所々費、教区費
諸会費	12,000	10,000	▲ 2,000	県教区曹青会費
火災保険料	580,000	495,930	▲ 84,070	本堂会館庫裏火災地震保険料
会議費	10,000	10,000	0	総会・世話人会
檀信徒関係費	37,000	41,237	4,237	盆札配布
事務費	40,000	73,595	33,595	郵券費、寺報コピー印刷代
管理費	300,000	326,078	26,078	会館本堂庫裏光熱点検費
雑費	40,000	40,000	0	町花火寄付
予備費	0	27,000	27,000	役員用意
合計	1,435,000	1,469,425	34,425	

収入合計1,488,555 - 支出合計1,469,425 = 19,130 (次期繰越)

編集後記

今号の「お盆特集」はいかがでしたでしょうか。ご先祖さまに手を合わせ、ご家族で命のつながりを語り合うきっかけになれば幸いです。これから暑さに向かいますが、体調に十分お気を付けて穏やかな夏をお過ごしください。合掌

◆ 春の彼岸前 ◆
清掃奉仕 所管地区の方々
年二回から三回を目安にお寺の境内清掃を各地区にお願いしております。今回は三月十五日、朝早くからゴミ拾い中心に奉仕いただきありがとうございました。境内のゴミもだいぶ少なくなりましたが、今後も環境美化の為、お参りの皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。
・墓花は生花・供物はあげっぱなしにしていかない事
・新聞紙・ナイロン・プラスチック・缶・セトもの等、ゴミの要因となる物は各自 お持ち帰り下さい



法被を着て記念撮影

LINE てあわせ公式ライン

常堅寺では、地域を離れ都市部で生活しているご家庭向けに、ふるさと情報やおみくじ、ご命日のお知らせなどが定期的に届く「てあわせ常堅寺公ライン」を解説しています。ラインを通したメッセージもやりとりできますので、ぜひご登録ください!

ご登録はQRコードから



御朱印

ライン

お盆特集

お盆はどんな行事？

お盆は、ご先祖さまや亡き方々の霊をお迎えし、そのご恩に感謝を捧げる日本の大切な仏教行事です。一般的には八月十三日から十六日に行われ、お迎えしたご先祖さまが家族とともに過ごされる期間とされています。迎え火・送り火を焚いてご先祖さまをおもてなしし、ご供養します。お盆は亡き方々を思い出すだけでなく、家族や親族で集いながら、多くのいのちのつながりによって今の私たちがあることを見つめ直す機会でもありません。



精霊馬は、お盆にご先祖様があの世とこの世を行き来するために乗る乗り物



盂蘭盆の由来 母を想う「目連尊者」の物語

盂蘭盆の由来には、お釈迦様の弟子・目連（もくれん）の物語が深く関わっています。不思議な力（神通力）を持つ目連さんは、ある時亡き母が地獄で逆さ吊りにされ、苦しんでいる姿を目にしました。何とか救おうとしましたが、一人の力では及ばず、お釈迦様に相談します。お釈迦様は「夏の修行を終えた僧侶たちに感謝の食べ物をお供えし、みんなで祈りなさい」と教えました。目連がその通りにすると、母は無事に極楽へと救われたのです。この故事が「盂蘭盆会（うらぼんえ）」の起源とされており、大切な人を思い、みんなでご供養するというお盆の精神的な土台となっています。

五如来幡お飾りとは

曹洞宗のお盆における「盆幡（ぼんばた）」とは、お盆の時期に仏壇や精霊棚（盆棚）の前に吊り下げる「五色（緑・黄・赤・白・紫）」の小さな旗のことです。ご先祖様や無縁仏を供養し、お迎えするための目印や仏様の威光を表すものとして飾られます。

【五如来の象徴】幡に描かれている五色（緑・黄・赤・白・紫）は、仏教における「五如来」を表しています。

【方角の守護】それぞれの色が東西南北と中央の方角を割り当てられており、ご先祖様の霊魂が迷わず浄土から帰ってこられるように守護する意味があります。

【飾り付ける場所】精霊棚（盆棚）の四隅に笹竹を立て、その前面に吊るすのが伝統的な飾り方です。現代では直接お仏壇に吊るしてお供えすることも一般的になっています。

【期間】お盆の入り（迎え火）から、お盆の明け（送り火）まで飾ります。



お墓を守り続けることが難しい時代に

近年、高齢化や跡継ぎの問題により、「お墓を守り続けることが難しい」というご相談を多く承るようになりました。時代の変化とともに、供養の形も多様化しております。当寺院では、皆様の不安を少しでも和らげ、故人様を偲べるよう、新たな解決策を提案しております。



当寺院の
ガーデニング霊園



◆ 提案① ◆ お墓の継承について

代々のお墓を、永代供養のできる「樹木葬」へ移転される方が増えています。【メリット】急な坂道での墓参り、日々の草取りから解放されます。樹木葬であっても、今まで通りお参りができ、将来の「墓じまい」の心配も不要です。



リニューアルオープンした
銚子台樹木葬



大切なペットも
一緒に眠ることも可能

◆ 提案② ◆ 将来の「墓じまい」の生前予約

「ひとりで、跡継ぎもいない。でも生きている間はお墓を守りたい」という方へ。

【メリット】生前に、将来の葬儀・供養・墓じまいを当寺院にご依頼いただける「生前予約」を承っております。書面で確実にお約束いたしますので、ご自身がお亡くなった後不安がなくなります。まずは一度、お寺へご相談ください。皆様のご事情に合った解決方法が必ず見つかります。「元気なうちに、動くこと」が安心につながります。



◆ お知らせ ◆ 樹木葬新区画、七月完成！

おかげさまで、ガーデンタイプ樹木葬は開園四年目を迎えました。ご好評につき、この度「二期区画」を造成いたしました。

【選ばれる理由】駐車場からすぐの好立地で、日当たりも良く、草取りの手間もありません。代々のお墓の移転先としても最適です。新区画はご希望が集中する可能性がございますので、このお盆のお墓参りの際、ぜひ実際の風景をご覧ください。ネットでも詳細を公開しております。



◆ 参道入口ガーデン

試行錯誤しながらのガーデン作りではありますが、四季折々にふれるお花の散策もぜひお楽しみ下さい。

